

故・儀我壮一郎元社会科学研究所参与・元経営学部教授  
遺稿「張学良少帥と日本」掲載にあたって

専修大学社会科学研究所所長 町田 俊彦

儀我壮一郎先生の遺稿「張学良少帥と日本」が掲載されることになりました。

先生は本学経営学部教授に在任中は本研究所所員として、退職後は本研究所参与として、国内・国外の実態調査に積極的に参加されるとともに、ほぼ毎年度『社会科学年報』に玉稿を寄稿され、本研究所の研究活動に大きく貢献されてきました。

本年度刊行の『社会科学年報』第44号にも玉稿を寄稿されました。先生は初校をされる以前に、2009年12月8日90歳でご逝去されました。社会科学研究所事務局員一同は先生のご逝去を心から悼むとともに、遺稿を掲載することが先生の御遺志にかなうと判断しました。

校正は張作霖・張学良について学識が深い方をお願いせざるをえないと判断しました。そこで「張作霖爆死80周年記念集会（2008年6月1日、学士会館で実施）実行委員会」（代表：故儀我壮一郎元参与）で実行委員を務められた壱岐一郎氏（日本記者クラブ会員）をお願いしたところ、快諾いただきました。壱岐一郎氏には多忙な中、初校と再校を担当いただきました。心から感謝申し上げます。

本『年報』に先生の遺稿ともいうべき上記の論文を掲載できましたことは、本研究所の研究活動に多大な貢献をして下さった先生へのご供養になるのではないかと、所長として慶んでおります。

(2010年1月19日 記)